

# 令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立南六郷小学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・ICTを活用した映像資料は、興味・関心を高めたり、イメージをもたせたりするのに有効であった。
- ・社会科見学に行くことができ、実際に目で見て学べたことが効果的であった。
- ・単元に合わせた本や資料を教室の前に用意することで、主体的に学習に取り組む姿が見られた。

### (2) 課題

- ・児童の力で問題づくりを行うことが難しかった。細かな視点を与えながら考えさせる必要があった。
- ・複数の資料を関連付けて読み取ることが難しい児童が多く、資料の比較や読み取り方を学ばせる必要がある。
- ・社会的事象への関心は高いが、自分の意見をもったり、正しい意見であるか考えたりする力を付ける必要がある。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	・知識・技能、思考・判断・表現は大田区の目標値を下回り、主体的に学習に取り組む態度は、大田区の目標値をわずかに上回っている。		
第5学年	・大田区の目標値に対し、知識・技能は下回り、思考・判断・表現は上回っている。主体的に学習に取り組む態度は、ほぼ同値である。	・3つの観点全てで、大田区の目標値を下回っている。	
第6学年	・3観点全てで、目標値、区・都の平均を上回っている。	・3つの観点で目標値に近い結果となっている。 ・知識・技能の観点は目標値を大きく上回った。 ・「伝統や文化、先人の働き」が下回っている。	・3つの観点全てで、目標値を上回っている。 ・「安全なくらし—火事」のみ、目標値を若干下回ったが、他の内容は全て目標値を上回っている。

### (2) 分析（観点別）

#### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を下回った。</li> <li>・四方位はおおむね理解できている。</li> <li>・各単元の基礎知識の定着（地図記号の全般的な理解、消防・警察の体制の理解）に課題がある。</li> <li>・販売の仕事、警察官の仕事、消防の仕事の理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対し、わずかに下回った。</li> <li>・年表資料に着目して移り変わりをとらえることに課題がある。</li> <li>・販売の仕方にみられる工夫について表現することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を少し上回った。</li> <li>・生産、販売の仕事について資料をもとに考えたり判断したりすることができている。</li> <li>・市の人口の変化について資料をもとに表現することに課題がある。</li> </ul>

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の位置、周囲の大陸名や海洋名、北方領土など、日本の周辺の地理についての理解が低い。</li> <li>各単元での重要語句が十分に押さえられていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、その内容の特色、変化などを読み取ることにはある程度できるが、複数の資料を関連付けることに課題がある。</li> <li>学習したことをまとめたり、整理して表現したりすることに、課題のある児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史や地理分野については、興味関心が高く、意欲的に取り組む児童が多いが、その他の分野への興味関心が低い。</li> <li>授業では、意欲的に学習に取り組む児童が多いが、学んだことを生活や他教科の学習に生かそうとする児童は少ない。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間地図帳を活用して四方位を確実に理解できるようにする。</li> <li>地図記号は大田区など都市部の記号に偏らないようにし、日本全国を意識して多様な記号を理解できるようにする。</li> <li>販売の仕事、警察官の仕事、消防士の仕事を確かめる。</li> <li>身近な人々の仕事について、工夫していることを確かめる。</li> <li>仕事に関連させて身の回りにある掲示物、表示などを確かめる活動を行い、掲示物や表示の意味を考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が事前に資料から何を読み取らせたいのかを確実にして児童に資料を提示し、児童がめあてに沿って学習できるようにする。</li> <li>児童が資料から読み取った内容を学級全体で共有できるようにし、資料から読み取るべき内容を全児童が理解できるようにする。</li> <li>人々の工夫や人々の願いについて書いたり考えたりする学習を行い、児童が自分で考える力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用して実際の動画を提示したり、写真を示したりして、児童が毎時間興味をもって学習できるようにする。</li> <li>めあてに沿って自分で調べたりまとめたりする活動を行い、学習問題の答えを自分で見付ける力を高める。</li> </ul>

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>実物を見たり触れたりする活動、用語を確認できるワークシートの活用、自分で問題作りをする時間を設けるなど、活動を工夫して知識の定着を図る。</li> <li>ICTを活用し、自ら調べてまとめる活動を通して理解を深めたり、学んだことを映像と結び付けたりすることで、内容を定着させる。</li> <li>学習で出てきた地名や場所は必ず地図帳で確認させる。</li> <li>資料を読み取る際の観点を明確にし、児童が何を読み取ればよいか、見通しをもたせて活動に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の情報を、比較・関連付けさせることで、問題を解決する場面を設ける。</li> <li>社会科用語や単元の重要語句を使ってまとめや振り返りを書く活動を取り入れたり、まとめを友達と交流したりすることで、表現する力を高める。</li> <li>インタビュー資料を読むことを作業として捉えさせずに、目的を考えさせてから資料を確かめる活動にしていくことで、思考を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃より、新聞やインターネットで時事問題に触れることのできる時間をつくる環境を整えることで、社会的事象への関心を高める。</li> <li>社会科の学習に関係する本をいつでも手に取れるように教室に用意したり、デジタル教科書の資料や動画等のICTを活用して学習を進めたりすることで意欲を高める。</li> </ul>